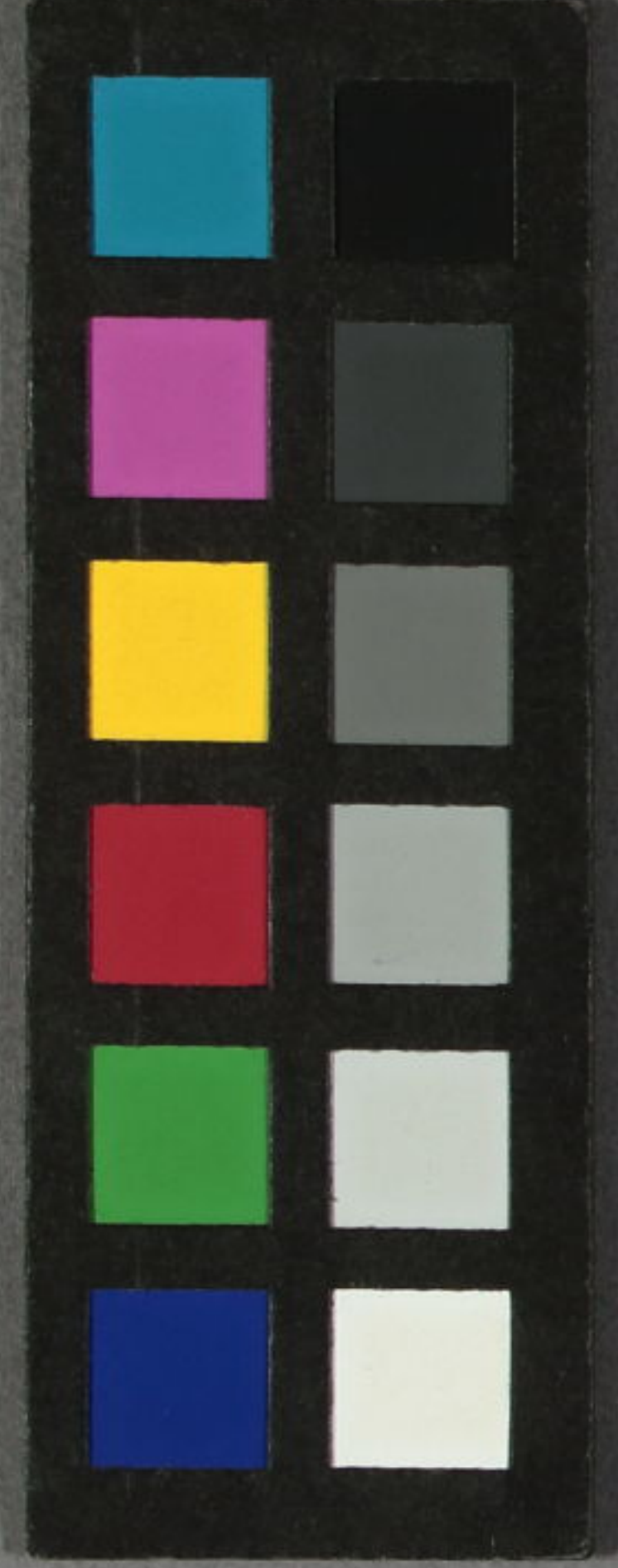


續膝栗毛五編 上

13

3286

27



門 へ 13
號 3286
卷 27

昭和十六年一月十一日
尾野貴英氏贈

續 藤 栗 色 叙

反古^{うぐい}なる梅^{うめ}も末^{まへ}末^{まへ}くは分^わはけじの^し。

亦^{まへ}昔^き人^{ひと}素^す子^こ慣^なる^るま^ま命^{いのち}の^し。

同^{おな}斗^と渡^{わた}里^り力^{ちから}の^し生^{せい}の^し洋^{やう}本^{ほん}曾^{そう}の^し。

流^{りゅう}ま^まの^し俱^ぐ子^こ年^{ねん}少^{すく}年^{ねん}少^{すく}未^また^た工^{くわう}致^ちし^し。

噴^{ふん}一^{いつ}の^しも高^{たか}山^{さん}迷^まみ^み乃^の火^ひを^を系^{けい}京^{きやう}。

樹 情 人の 木の ぐ ぐ の し も 教 風 々 々

以 徳 らし ぬ 志 々 教 々 土 人 上 志 の

送 ぬ 心 け し な ぬ 言 語 都 會 子

界 々 々 心 々 々 又 雅 言 の あり 事 々

六 の 徳 業 も 心 々 々 中 山 道 々

々 々 々 御 嶽 驛 々 々 々

々 々 々 々 々 々 々 々 々 々

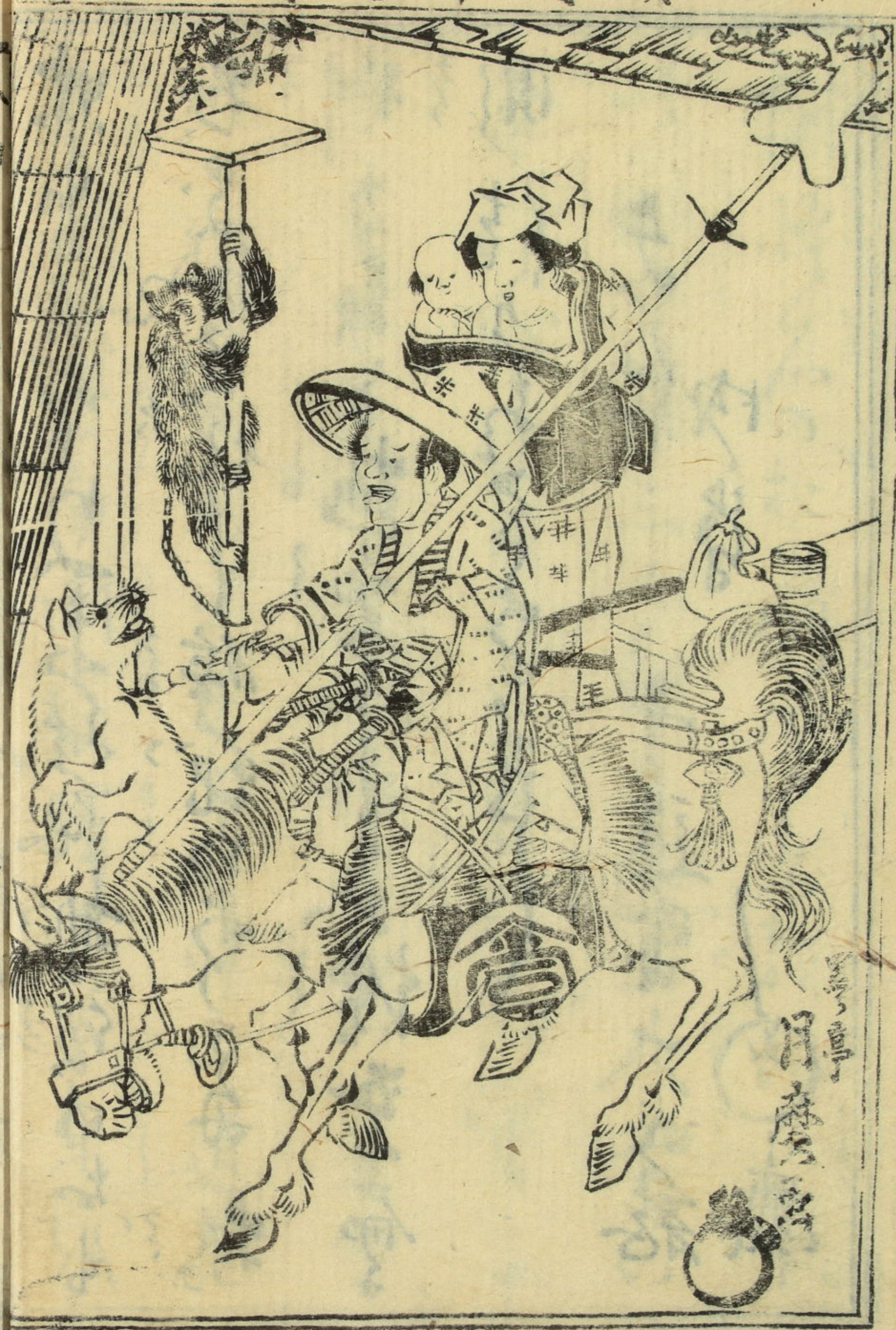
心 々 々 々 々 々 々 々 々 々

別 々 々 々 々 々 々 々 々 々

則 々 々 々 々 々 々 々 々 々

文化 成 々

十 一 徳 々 一 の 終 〇 庶



木曾 街道 續膝栗毛五編 上卷

東都 卜返舎一九著

連哥師の牡丹花ハ牛の角以金銀の箔ふた
 て。紅井の引綱をほけ。心のねよふ所へ来ふまはりて
 天晴の出り顔めて。是を奇姧を樂と扱ひ
 けん。今時そんる。まはりまはれて成せんと。着の
 きこす。馬ふらりと。駕ふたりと。飛来して。ゆき
 しのりたのし。旅行をど押のりるきののハは



はるかなる春の土質。花は木々の梢に咲き、

自在な

ちんちん

とあがり

梅の
かたちよ

あはれ
はるの
まの
まの

加納の
まの
まの
まの

かの漢土かんとうの七賢しちけん。藪やぶふかろもそ。月の晦日みづかふ掛取かかとりの
 難なんハ適ときくとも。三伏さんぶくの隻蚊しやくぶんゆせめくもくろく
 みハ堪たへがくろくべきふ。それも苦くハ樂らくの基もと。旅りよは
 夢ゆめのふくくくも。年寄としよりて月待つきまち日待ひまちの茶飯ちあひん
 喰く倒たふと。噺はなの種くさねハ是こゝふまくめあるく。さきこば
 彌次やじ希まれ多おほ森もり多おほハのふくろハ。中仙ちゆうせん及およ加納かしのの紙しハ
 沕くル時とき同宿どうしゆくせし浪人なうじんの吐は息いき洒落しやれつふ生肝なまきん
 とこそれころが。をそふ大勢おほせいひとありて。おのふる
 までもお混まり。酒飯しゆはんかハ居いろりなふ世よの
 刻ときたろりよる。大勢おほせい出いでて車軸くるまじくはるぐ。漸しだく
 我わがの明ある頃ころ。空崎そらさきかろくころふ。よるさびてそく
 ふま度たまく。出いでくけんともる時とき。又また俄たちふ海うみのさし
 こころごとく。風神かぜがみふまげく。ちるハ園ゆゑおひし
 しくあり。庭にはの下もとす紙しおひし。桔梗きぎョウをもち
 たるゆきの糸いとふるま。たろくおもやうももど
 ぬくの糸いとふおろ。たろく。三十一さんじゅういちハヨリキ

うらみのせいはら。國者「ユリヤデ」をいふ。あゝやとら
 も物事もののことはなる。こゝにまをす。國志こくにしよりいふ。サキ
 末すえなるをく。トいふのちりてきく。これにいふの
 ことなり。ついでにちかふ。あゝとら。なんどいふ
 かの物事ものことはなる。ゆりく。こゝにまをす。サキ
 けに川がなる。いふ。まゝにこゝにあゝいふ。
 りも「イニ」がぞる。けいこの流ハ。さし川
 流なが川の川が流ながれり。す。東ひがし後川ごがわの
 橋があらす。あゝとら。さし川。あゝとら。
 ぞるにせうと。あゝとら。後事ごじがけぬ。あゝとら。
 なるのふせは。こゝにまをす。あゝとら。
 かな代かしろでも。す。後事ごじのこゝにまをす。あゝとら。
 ませうがす。す。真利まがしのこゝにまをす。あゝとら。
 あんま。あゝとら。あゝとら。あゝとら。
 なるであらう。さし川。川がのあゝとら。
 ぞるのこゝにまをす。あゝとら。あゝとら。

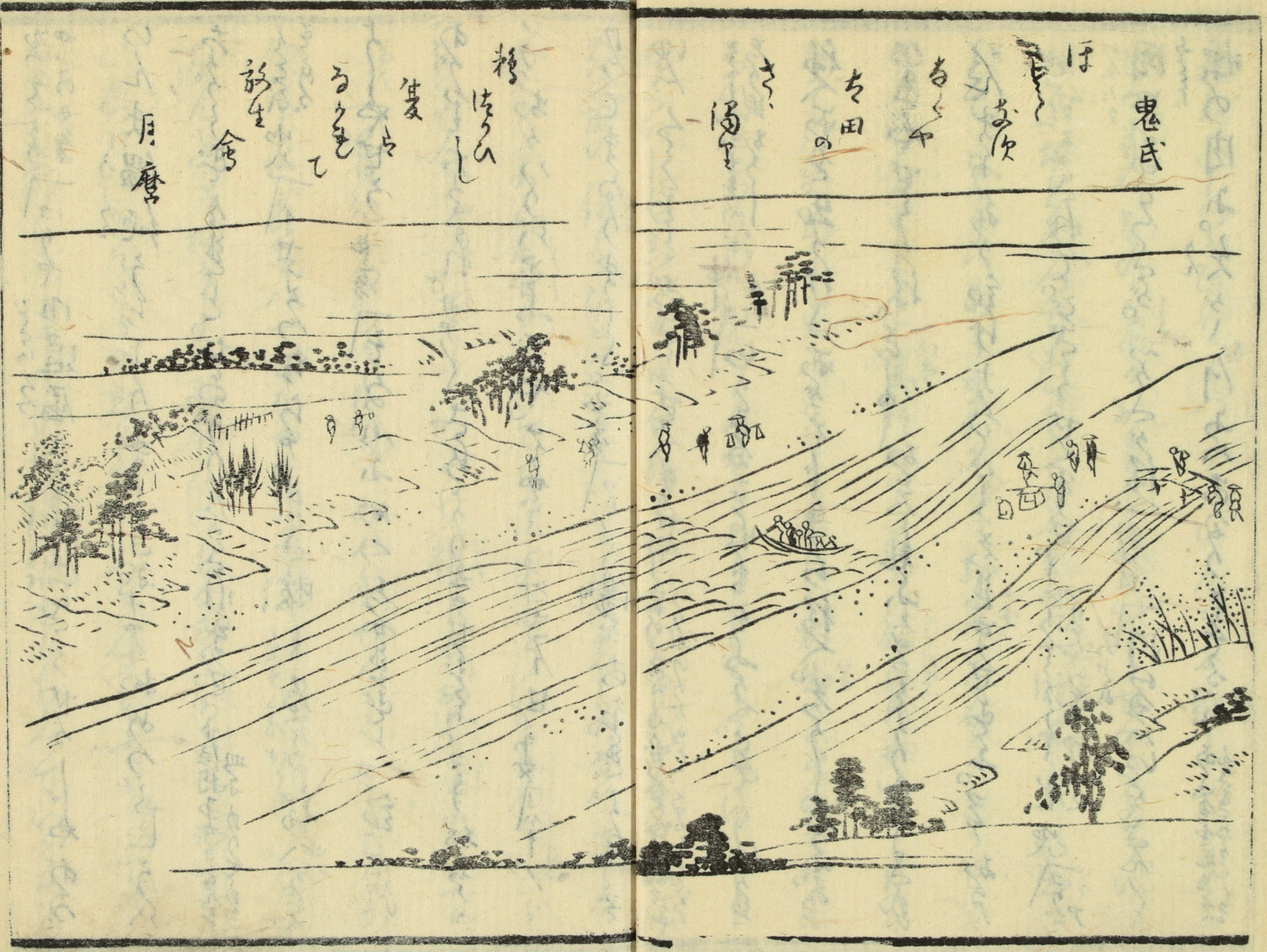
月磨

旅舎

る之也

復

精
法



鬼氏

ほ

ふ

あ

ち田

の

さ

福

かりてまゝなり「コリヤ此退屈さるまでおどろくせらるゝやある。
 中の女房」
 いんま温紙うちよりまゝ〜こふナア。おめぐるしうの
 おうらゝむどくまむど。おあがりたのま山牛のせ。トは角女うらむを
 四ふりて
 といひぬハ「イヤコららヤ。まご腹も居る福へく
 よ〜やせう。女房」
 あがりたのまこれ。サカ〜さめうりませぬふ。コチかあ、
 ふう。あうらうのさふでや。さかういことさんせ。妻「ハイノ
 ろりてまゝなりま〜」。女房「〜湯があらわきよらふ。そ
 れの糸をひきうぐうらて。かゝるよのるぬ。そ〜
 ありこのおん首がはけてたのんちかういことさんせ。
 是でや。女房「おソリヤか〜げ梅どや。おん〜のうらふ
 強」
 箸ハコららちがめりておやと。せん〜か〜さうの
 せう〜。おんハ一せんかうのせ〜
 ちんぶ。お〜ひのまゝさ〜。モ〜か〜ん
 けは〜らんさうのま〜。後〜
 なるでや〜。コ〜ユリヤ。後〜

ぞと。たんどゆあひらう。

ト登りやうとやひひてゆふふおつるよ。森あ八とらうかんしををらう。

^火 十二うまうも移入の代。種をせしむたをらう。

種^トをせしはまるりの入。ゆめさせんらひかせう。

そとるるぶちをせ入。トうどんの血をあんふせ。一せの十の文のつかり
ゆて種ををらうひふのうとんをこらう。

さる人おまけてまきふと。かろ
かろさりのをうがして。 コリやなんでも。おぞいさうをらう。

トあきねえらうて。火
をがまけらう。 種さ入らるるや。まかひあるあへ。急どら

子の氣性。あんほりくらねも。移入のせころく

はきなやがたらう。はきをらうと。トあがりきうてらうふ。あかひ
あかひはらう。

とらうてらうて。はらうかたらうよ。種
あきららうふの種ををらう。 ヤア急どらうの急。まじくをらう。

日一のどめを速くせらう。そはらうも速くせらう。ト一に
はらう。

あひ中た。たどありの川が。右田のらうて。でもとらうて。

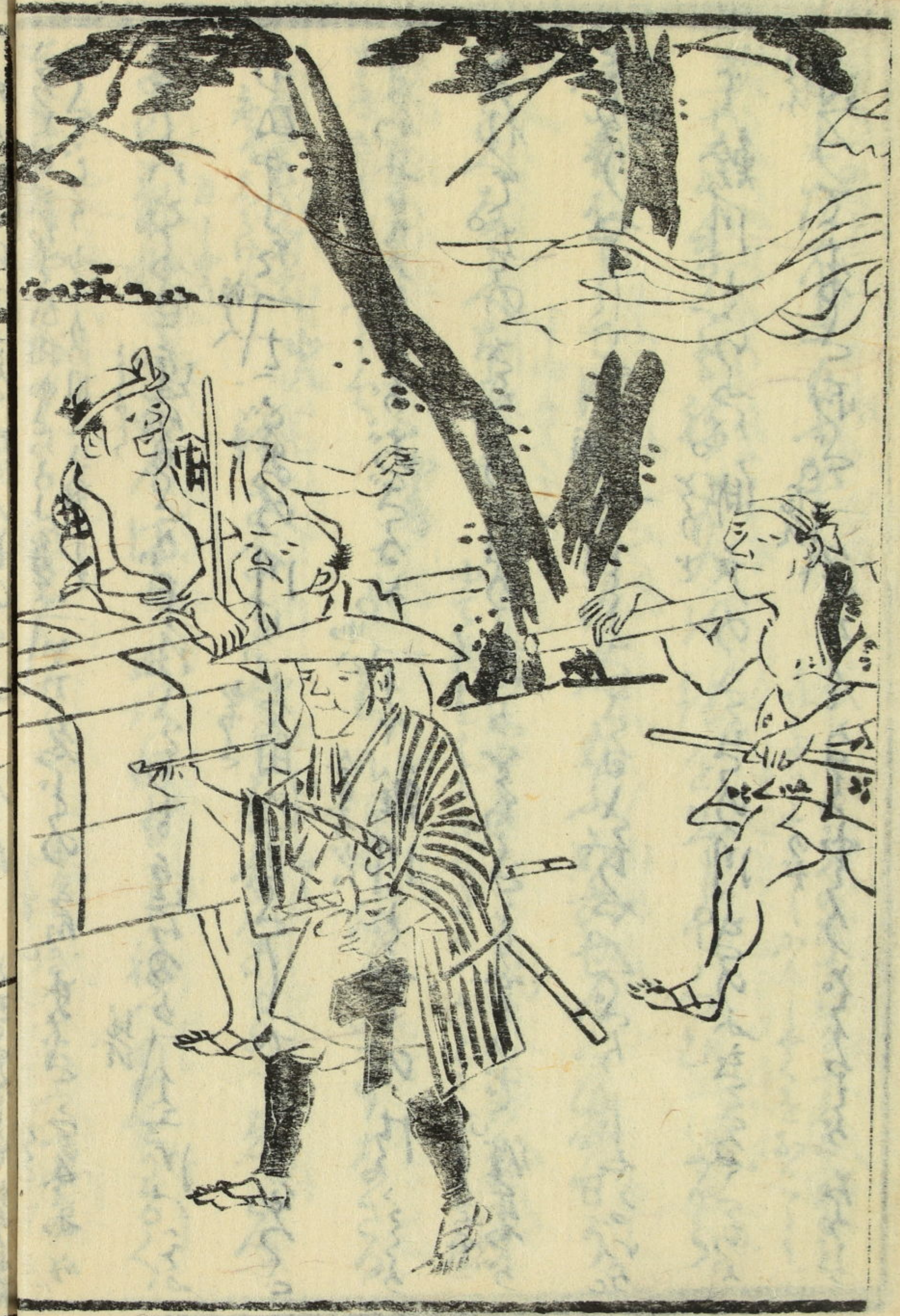
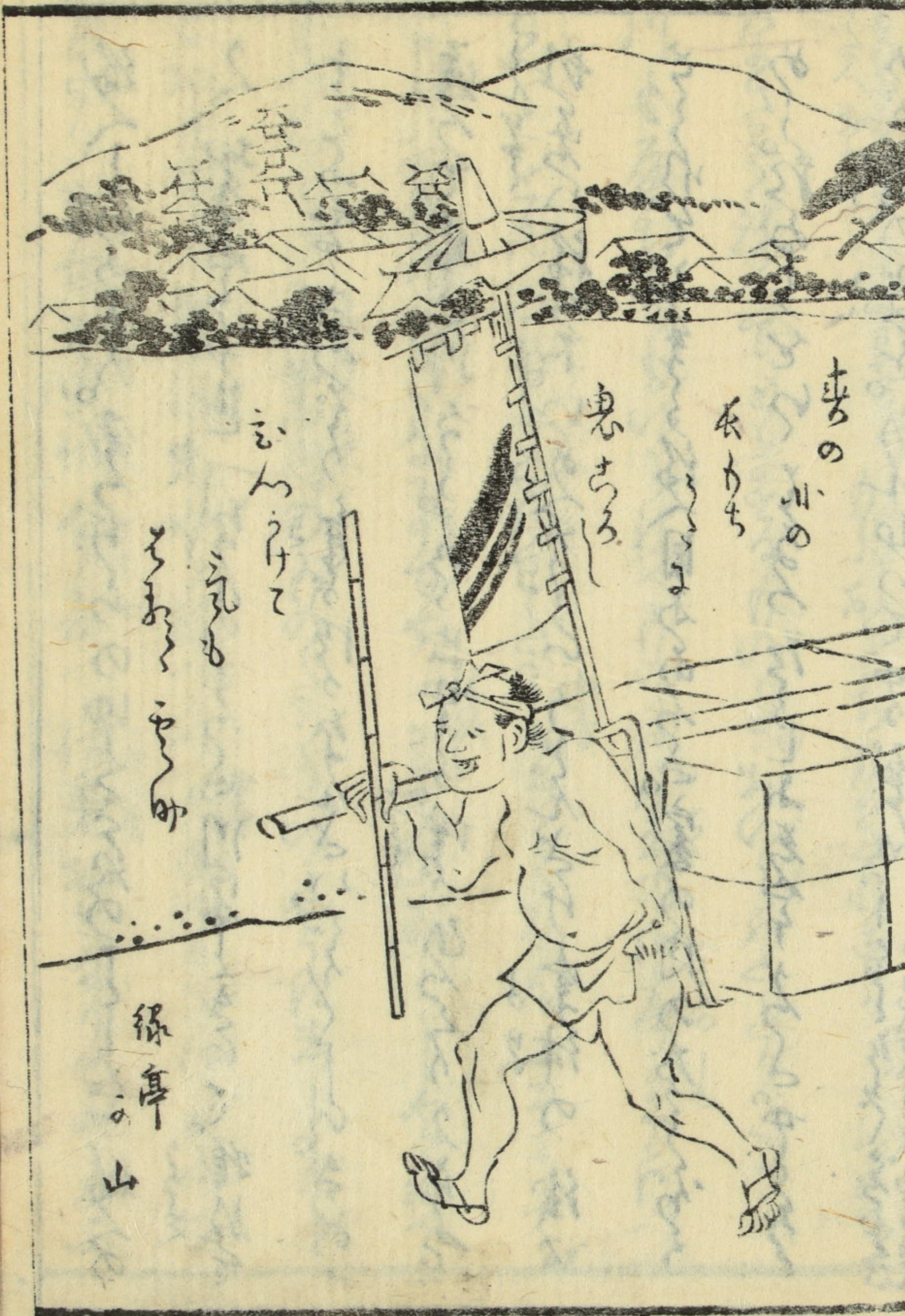
とらふらうのらうが。おぞらうら。カハ
カハ 船川と中一のはらうが

まられて。そのまきの川の橋がたらう。とらうで。種あが

とらうや。とらう。まらるらうら。とらう。トヤらうら。

とらう。船川とらう。御戸のらう。そのまきの川。そのまきの川。

通うて。とらう。とらう。とらう。とらう。とらう。とらう。



あゝ宿やどの先さき号ごう中ちゆうせう。カキマツルヤ山松さんまつ屋やといふ人ひとおと

どくませ。おむづじちあぐうけケイマツ維持ていじ。そとたそへふのら

なふりて。加納カノの糟田そうだやうのこしとありま

ゆふふおやうちでぶざりまじと。ト

山松屋持七の糟田をいふ

しやもかぬうざんやうたあわい

一たふくあさうせうれ川カハどん

トトの熱あつの皮かわトもかほら。あつらあつらあつら

まゝ宿やどのあせいくらやあもめんとしてあつた

とんどめふおとせやがくこふ。けも紙かみをしや

くまると。じいのつひやあうつてあをふつ。トカノ杖の

とまて。中の文もあつてよとてコトもあつた。女の文もあつた。たげんぞく。あ

まわの門かどもあつた。アアらうの女メのあつた。

休やすみ見みのゆらやといふ。タアおつらうが浦うらの宿やどの宿やど

別わかの女メのあつた。そねをねあつた。

く家のあつた。

あせやぐのて。無使させやうとふ。虎の皮乃禪ぶ。

どんるこしが書きてある。んとてやう。一ハヤマ川よ。

封紙までなふに蓋するせ。こらちが先で鎌向あり

やま。トあふふぬひりくつり。ふとこら入る。は内あしよりこの同席會し

おし。モイ。コリヤやんあやさ。おとあう。おしあやうらりし

こらどりの。さどりとやけしと。あおが宿のらどろ

めおほららるもそや。あけしめおあひや。ホニ

あめがこら。タアやうら宿ふとまらん。かげよ

さんごめおあひや。さうもや。あんな寝く

びごらんらひどやれど。圓サで。ふとよあがせ

ぶちあげさせ。おひいたあ。ぎらびこら

らうてもおやまが。祢あうどやう。すもるの

中。二て入やう。さ。さうらも種をさ

横へ中。トゆき。内。物々あ村とのあおいて。さふちくら

心八。因たもそのおま。さう。うし。ら。ら

の。さ。ん。ね。バ。き。ま。う。ま。り。ふ。云。み。せん。引

あ。よ。シ。キ。イ。と。千。ツ。ル。ジャ。と。く。あ。か。ら。る。あ。を。ヨ。リ。や

をらうてく。チンチリチンチン。同カラクドバニ。モイ

を靴ぶちめするやうふ。ちくとめのさや同すもなる

なんふやハ。あーのぶちするさや。あんでおぼる

コリや ち靴。イニふや。そのごんごう。写るさや。

あんどらちふ。あう。コリや皮でや。馬皮とのあをさるこ

ゆのでや。る皮しらひめさるハあんのこさ。馬の

ついでや。そらちの又かんく。るをさるふこの皮を

あんでおぼる。エリヤ。太皮とのあで。ちでや。

あんどらちふ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。

あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。

あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。

あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。

あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。

あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。

あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。

あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。

あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。

あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。

あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。

あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。あかひさ。

火^ヒの^シ山^{ヤマ}の^ヒ白^{シロ}ひを^ユ臭^ニじ^ミ。氣^キが^コら^ルく^ルの^ヨ。
 味^{アジ}は^ク。酒^{サケ}を^チち^ツと^シた^リ。お^ーて^ンな。
 酒^{サケ}の^コん^デお^ーで^ス。こ^ノサ^ケこ^ノ
 どのの^コ國^{クニ}サ^ケで^ハ。大^オ根^ネとい^ハ中^{ナカ}に^ヤ。お^ーこ^ノも^ササ
 あんとい^ハひ^メさ^ス。火^ヒが^チち^ツの^ヨ。お^ーこ^ノ
 大^オ根^ネサ^ケあ^ル。味^{アジ}とい^ハ中^{ナカ}に^ヤ。あん^トも^カん^ノこ^ノと
 火^ヒの^シ山^{ヤマ}の^ヒ白^{シロ}ひを^ユ臭^ニじ^ミ。氣^キが^コら^ルく^ルの^ヨ。
 味^{アジ}は^ク。酒^{サケ}を^チち^ツと^シた^リ。お^ーて^ンな。
 酒^{サケ}の^コん^デお^ーで^ス。こ^ノサ^ケこ^ノ
 どのの^コ國^{クニ}サ^ケで^ハ。大^オ根^ネとい^ハ中^{ナカ}に^ヤ。お^ーこ^ノも^ササ
 あんとい^ハひ^メさ^ス。火^ヒが^チち^ツの^ヨ。お^ーこ^ノ
 大^オ根^ネサ^ケあ^ル。味^{アジ}とい^ハ中^{ナカ}に^ヤ。あん^トも^カん^ノこ^ノと

さん^サん^ソの^ハあん^アど^アあり^マ。お^ーこ^ノも^ササ
 の^ヨ。お^ーこ^ノも^ササ
 火^ヒの^シ山^{ヤマ}の^ヒ白^{シロ}ひを^ユ臭^ニじ^ミ。氣^キが^コら^ルく^ルの^ヨ。
 味^{アジ}は^ク。酒^{サケ}を^チち^ツと^シた^リ。お^ーて^ンな。
 酒^{サケ}の^コん^デお^ーで^ス。こ^ノサ^ケこ^ノ
 どのの^コ國^{クニ}サ^ケで^ハ。大^オ根^ネとい^ハ中^{ナカ}に^ヤ。お^ーこ^ノも^ササ
 あんとい^ハひ^メさ^ス。火^ヒが^チち^ツの^ヨ。お^ーこ^ノ
 大^オ根^ネサ^ケあ^ル。味^{アジ}とい^ハ中^{ナカ}に^ヤ。あん^トも^カん^ノこ^ノと

トは^シ山^{ヤマ}の^ヒ白^{シロ}ひを^ユ臭^ニじ^ミ。氣^キが^コら^ルく^ルの^ヨ。
 味^{アジ}は^ク。酒^{サケ}を^チち^ツと^シた^リ。お^ーて^ンな。
 酒^{サケ}の^コん^デお^ーで^ス。こ^ノサ^ケこ^ノ
 どのの^コ國^{クニ}サ^ケで^ハ。大^オ根^ネとい^ハ中^{ナカ}に^ヤ。お^ーこ^ノも^ササ
 あんとい^ハひ^メさ^ス。火^ヒが^チち^ツの^ヨ。お^ーこ^ノ

ようかんへちめんのかんぞろ。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
 のでようかんといふ中を。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
 る。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
 いひやうせん。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
 中うちらぐひやうせん。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
 あぶとあひなま。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
 あんづ。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
 是 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく

がのふちがうたじしい名でおぶくち。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
 赤いりのサヤめんといふ。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
 猪 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
 ヤ カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
 めんごらふ。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
 こ カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
 ア カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく
 お カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく。 カ 牛 ウシ 少 オウシ 量 リヤウ であううく

酒もあつくしんきさうせし。あぢら ちんこもばり。ちんこ

きんぎょがぶらぶらぶらぶら。かたん ちんぎょがぶらぶらぶら。

ちんぎょがぶらぶらぶらぶら。あぢら ヤアアア。ちんぎょがぶらぶらぶら。

ちんぎょがぶらぶらぶらぶら。あぢら ヤアアア。ちんぎょがぶらぶらぶら。

ちんぎょがぶらぶらぶらぶら。あぢら ヤアアア。ちんぎょがぶらぶらぶら。

ちんぎょがぶらぶらぶらぶら。あぢら ヤアアア。ちんぎょがぶらぶらぶら。

ちんぎょがぶらぶらぶらぶら。あぢら ヤアアア。ちんぎょがぶらぶらぶら。

ちんぎょがぶらぶらぶらぶら。あぢら ヤアアア。ちんぎょがぶらぶらぶら。

ちんぎょがぶらぶらぶらぶら。あぢら ヤアアア。ちんぎょがぶらぶらぶら。

ちんぎょがぶらぶらぶらぶら。あぢら ヤアアア。ちんぎょがぶらぶらぶら。

ちんぎょがぶらぶらぶらぶら。あぢら ヤアアア。ちんぎょがぶらぶらぶら。

ちんぎょがぶらぶらぶらぶら。あぢら ヤアアア。ちんぎょがぶらぶらぶら。

ちんぎょがぶらぶらぶらぶら。あぢら ヤアアア。ちんぎょがぶらぶらぶら。

ちんぎょがぶらぶらぶらぶら。あぢら ヤアアア。ちんぎょがぶらぶらぶら。

ちんぎょがぶらぶらぶらぶら。あぢら ヤアアア。ちんぎょがぶらぶらぶら。

ちんぎょがぶらぶらぶらぶら。あぢら ヤアアア。ちんぎょがぶらぶらぶら。



横に
金内



うの親おぢ仁に八は里りををつつろろええるるゆゆゑゑままささくく馬ばふ
 のせをてを出だししけけるる。御ご座ざ多た六六。そそろろふふ先まへへ
 けけここ。たたろろふふ。批ひ持ぢ依いのの男おとこひひらら。既ゆううりり集あま
 かかろろ。モモシシ今いま怪あや我わがををささんん。ととららああままんんががああめめめめろろをを
もろろ。ナナアアニニそそううででももおおおおららいいややせせんん。イヤイヤモモああままをを
 ささららいい。おおららいい馬ばふふ。集あまませんせんののああまま。そそううささ
 めめいいんんじじいい。ここららああぢぢやや。タタノノハハとといいたたらら
 ああままいいんんじじいい。今いまおおららいいんんじじいい。ソソリリヤヤ

ところも彼へ。夏中そへ何里ほどあるまうと
 世里あまうあまんとつらなる。イヤあめいんじ
 鼻はな見みじじまま。なんなんののああまま。ああめめいいんんじじああままららああ
 たまのなる。あまをさへして十三里歩行で、大坂へいそ
 ち。角かどのの芝しば居い三さん幕まくををどど入い物ぶつ。ああららててかかきき。屋や
 のハはハは時ときがが大だい坂ばんををああてて。日ひののくくれれんんささららふふ。ううちちののああまま
 ちであまをくが。ほろあまをさへした。あまを
 結むすんででつつららすす。ははいいんんじじいい。ああままららああ

「ナニそのくまののこふんでも移入するらも

ちやうど。あのまゝ伊勢へ七段移入してな。あ

目ぐるふくくまのあつた。いんやとひやうも

ちん。そのあつたそのあつたあつたあつたあ

十三 五断 踏炮 玉を動かしてのむと。奇妙お

をゆるるるやと。そのあつたあつたあつたあ

まのりうけてとる。是がまのあつたあつたあ

退席しや。あつたあつたあつたあつたあ

スる。あつたあつたあつたあつたあ

あつたあつたあつたあつたあつたあ

あつたあつたあつたあつたあつたあ

あつたあつたあつたあつたあつたあ

あつたあつたあつたあつたあつたあ

あつたあつたあつたあつたあつたあ

あつたあつたあつたあつたあつたあ

あつたあつたあつたあつたあつたあ

あつたあつたあつたあつたあつたあ

あつたあつたあつたあつたあつたあ

あつたあつたあつたあつたあつたあ

コリヤは中々移入。どんどんと。世はみるみるうらやから
てきまひかきせしむるの志はてこのめでたふな。 （註） いかゞ
金毘羅様のあすのや。仔細はあもこのあ
ら。うらやからあつては （註） ちまがたきで。あどくはうらや
（註） ちまがたき
まはが移入し中々移入。 （註） ちまがたき
ゆへにうらやまあどふ。 （註） ちまがたき
のそ中中中。トちまがたきふたのちまがたきしうらやの
（註） ちまがたき
移入の化したるくとおのふたき

とらにやうしう 細かう後し 哉

まうらうらうられのてまはしう。世はみるみるうらやから
まうらうらうられのてまはしう。世はみるみるうらやから
まうらうらうられのてまはしう。世はみるみるうらやから

赤妙紙 移入 名所ふおのひ出せ

いよきあしおしおれ人并おんせそ

左角の 漆場ふはきたるふ。今うおのあより

あまして。余計の 毎毎紙しきんきん

字角の名乃おしきるあしおの所れ

芦渡
いしる家

石
也

杖
を

し
切
り

詠
人

休
ま
る



あ
し
戸

茶
を

あ
ら
ぬ

金
丸



酒^{サカ}樽^ツワ^ハ〜ん^ン後^{ノチ}を^ヲ〜き^キ身^ミを

かくて^ヤ休^{やす}みの^ノ歌^{ウタ}は^マま^マで^デ。か^ノ山^{ヤマ}松^{マツ}海^{ウミ}と^シつ^ツ結^{ムス}

笠^{カサ}や^ノの^ノあ^ハり^ハて^テは^バ。小^こ庭^{にわ}の^のま^まを^を産^うま^まへ^へ向^むか^かう^う

小^こ奇^き麗^{れい}小^こ見^みの^のゆ^ゆを^を六^む。中^なの^のて^てあ^あふ^ふお^お細^こと^とり^りて

風^{かぜ}呂^{りよ}や^やも^も入^いり^り。今^{いま}も^もも^もと^とみ^みら^らる^るよ^よ。む^む女^にと^とあ^あり^りて

あ^あり^りて^てあ^あら^らず^ず。ゆ^ゆの^の知^ちを^をみ^みけ^けさ^さぬ^ぬよ^よ

も^も縁^{ゆかり}の^のあ^あり^りが^がま^まま^まと^とけ^けぬ^ぬ。ツ^ツチ^チく^くコ^コリ^リく^くモ^モシ^シの^の葉^は

あ^あが^がり^りま^ませ^せ。ハ^ハら^らう^う甘^{あま}い^いお^おあ^あら^らず^ず。と^とら^らふ^ふ

中^なへ^へあ^あ。此^{こゝ}内^{うち}か^かこ^こさ^さる^るあ^あら^らず^ず。ハ^ハら^らう^うハ^ハら^らう^う

ひ^ひと^とり^りあ^あり^りよ^よう^うま^まま^まと^と。ハ^ハら^らう^うハ^ハら^らう^う

あ^あら^らず^ずと^とか^かこ^こさ^さる^るよ^よう^うま^まま^まと^と。ハ^ハら^らう^うハ^ハら^らう^う

ま^まま^まま^まま^まト^トろ^ろと^とい^いく^く。ハ^ハら^らう^うハ^ハら^らう^う

ハ^ハら^らう^うハ^ハら^らう^うよ^よう^うま^まま^まと^と。ハ^ハら^らう^うハ^ハら^らう^う

ら^らタ^タア^ア加^か納^{のう}の^の精^{せい}田^{でん}産^{さん}と^とる^る中^{ちゆう}へ^へあ^あら^らず^ず

此^{こゝ}中^{ちゆう}へ^へあ^あら^らず^ずと^とい^いく^く。ハ^ハら^らう^うハ^ハら^らう^う

ハ^ハら^らう^うハ^ハら^らう^うよ^よう^うま^まま^まと^と。ハ^ハら^らう^うハ^ハら^らう^う

火 志めつくと今ふをどまるざらう 後

男ごカミヨシ 懐隆カミヨシ 懐隆をさせやうと母のつてら。志この

あつひおのしりうらう。トは カミヨシ

そのまぐらちあしりつてめえをうかひ。縁もやをぬくやうなるふ
わんのどく何やう大なるをゆけてうらうがさうりしとと志サヤ

まのこしやういしとと志サヤ カミヨシ カミヨシ

あやあんぢううらういぐまんと。ま志よまサ。あま。

のりの知んぢうらの方ふはるくらて。りんの君ふりま

めらうと。ま サヤ カミヨシ カミヨシ カミヨシ

買まらと志とあひひをうても サヤ カミヨシ

くと。がらう買まらと志 カミヨシ カミヨシ

あまやらくるふ小身上のうらうらとんで。あんとと

がひしあひひるる。むげら カミヨシ カミヨシ

げのさるま カミヨシ カミヨシ カミヨシ

と志のえんや。あにサ カミヨシ カミヨシ

させうらひて。ま カミヨシ カミヨシ

カミヨシ カミヨシ カミヨシ

いふくしひのあまのしんく。いふくしのく。いふくまがらうふふふ

せふ。すあひのあまのしんく。血がらうまがらう。いふく。いふく

疾痛のうるく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく

めつけてく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく

多。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく

かぶりかぐ。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく

かぶるまふ。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく

使のら。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく

いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく

いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく

いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく

いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく

いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく

いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく

いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく

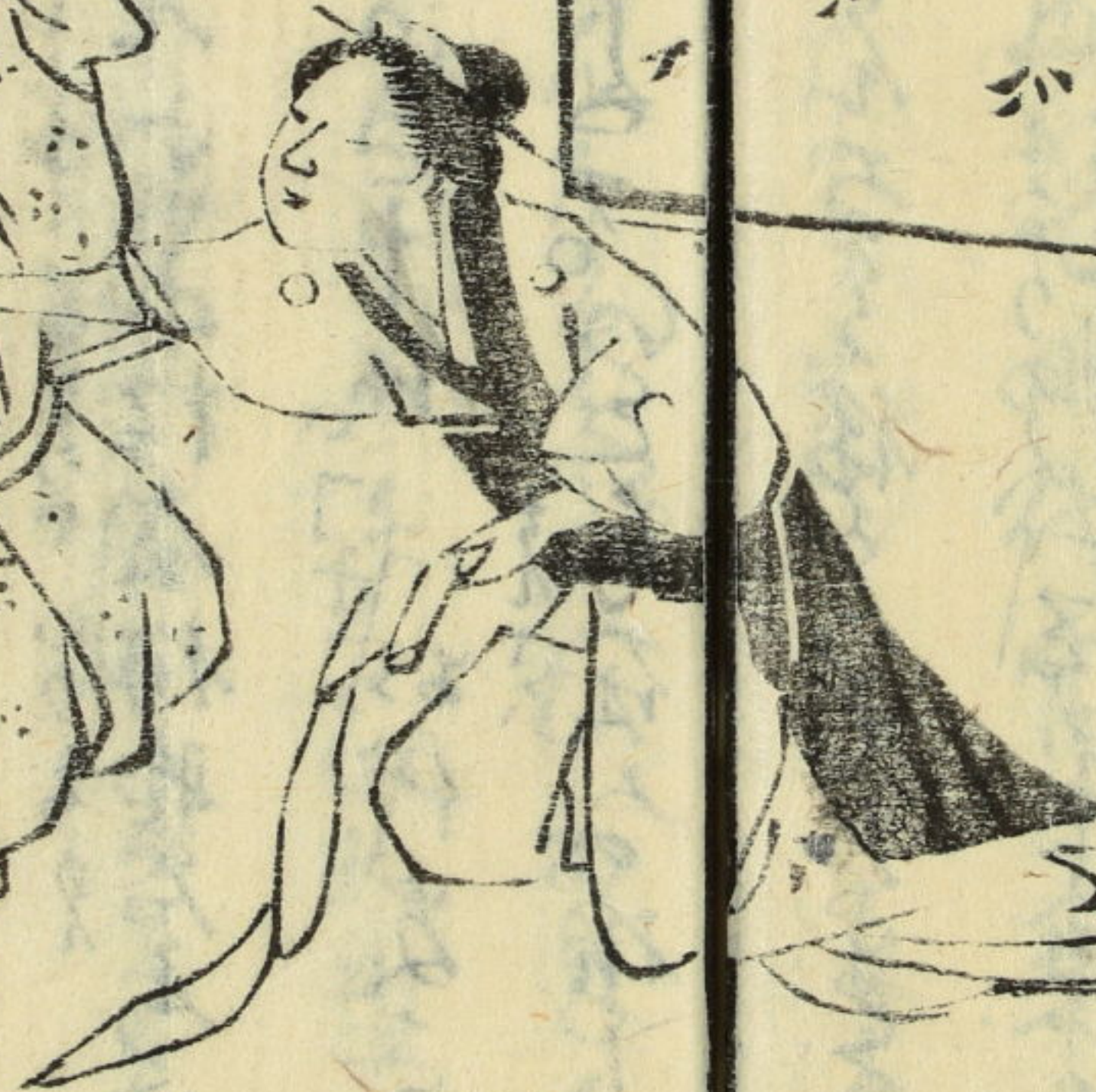
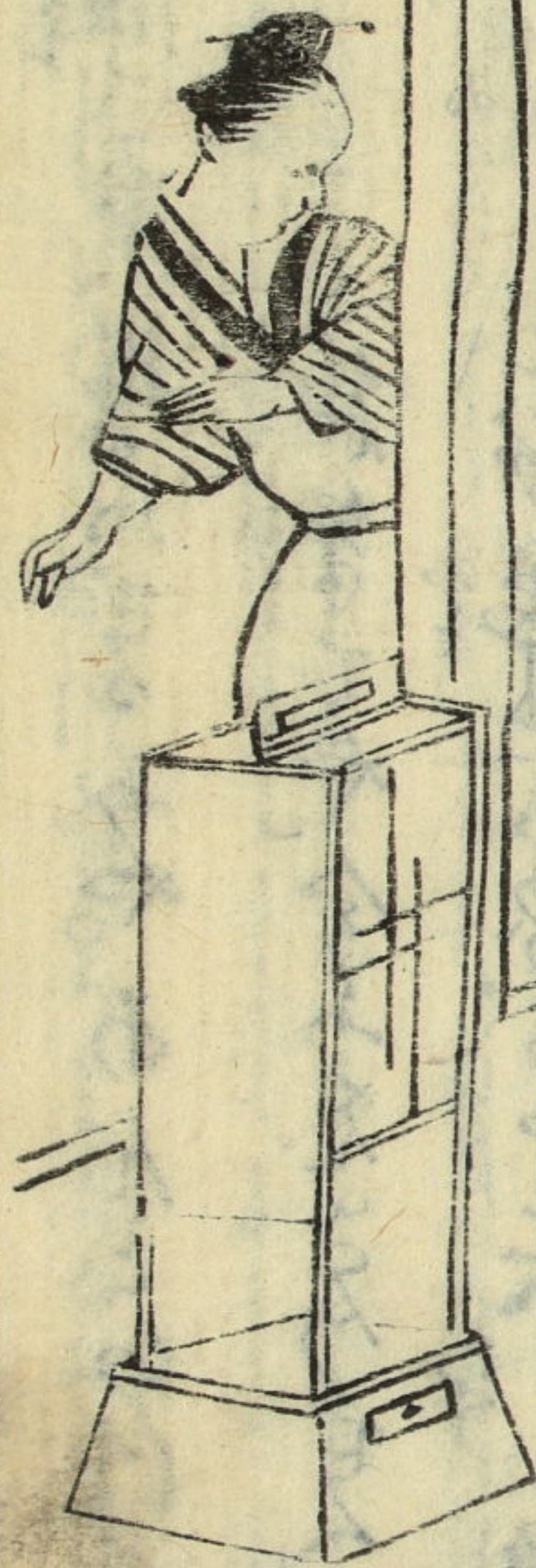
いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく。いふく

保
可山

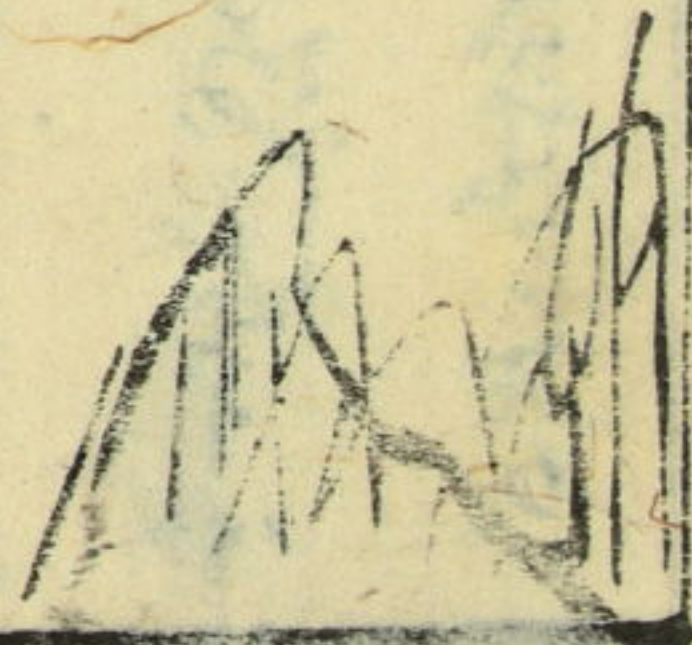
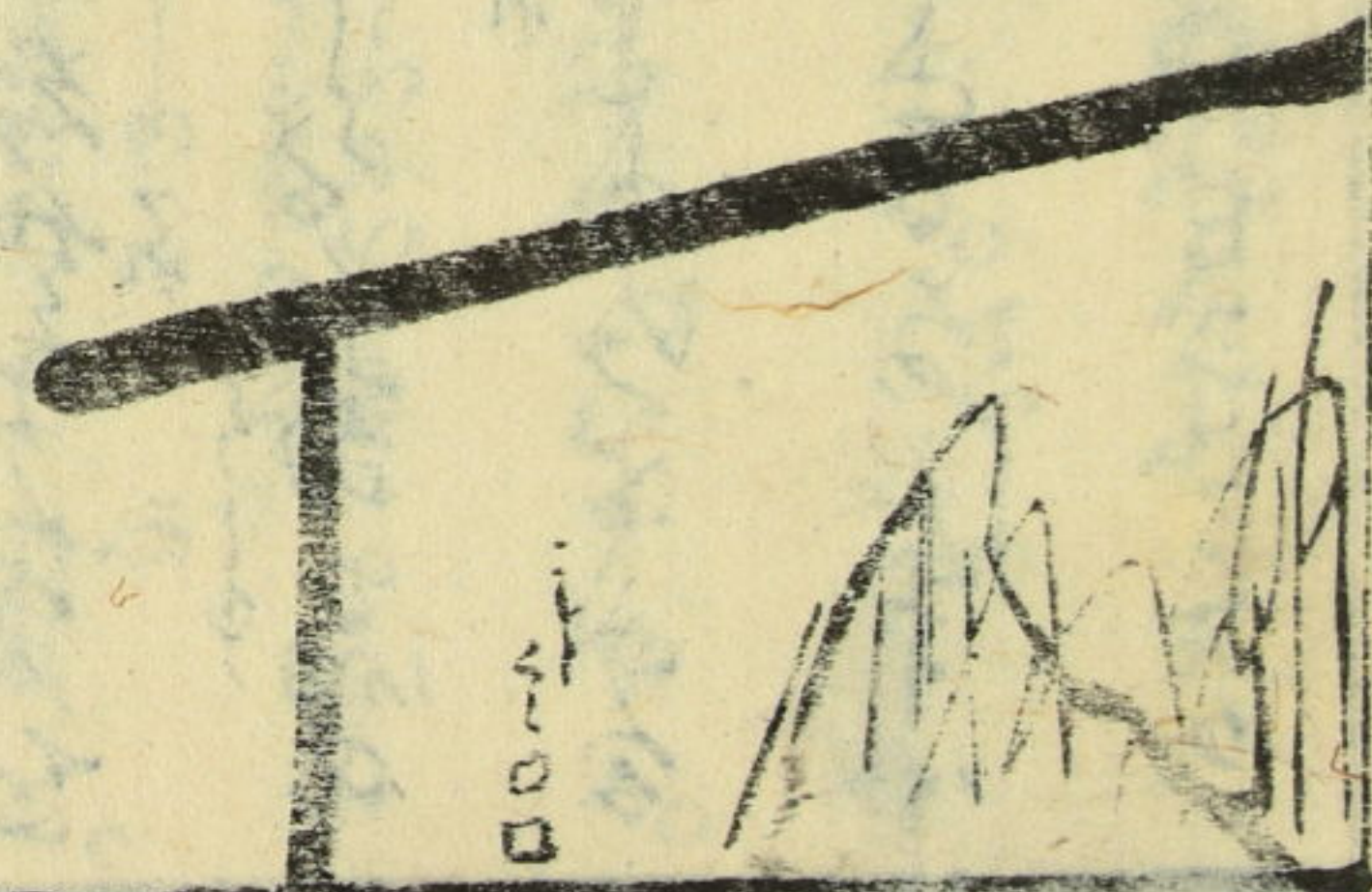
お
の
し
る
音

お
の
ま
い
し

お
の
ま
い
し



女
の
情
の
し



コしおらうのう。答のりチの申せやん。そ今もあやま
 かりそふおゆる。観音堂のわんを申せんをおこごら
 て来よう色。そコリヤヤやくいうごら。そやくく。コリヤ
 肝心の相多に産の氣がほいで。海神もあはま
 づらあげせんをのを。山代官を申入おこごらまに
 せ。M十 お寺へいこしいうごら。おあまら。
 いらうせる。トは問女考しん安産して。おぎあかくのこくこるんあ。そりやくそせしこお因申さんか。せんそくよひふ
コリヤヤやくいうごらまに

申くるらんらくとら医師を申
コリヤヤやくいうごらまに
 産かう性執をせしめてげで。血口を縫てくれ
 せのとせんそくよひふ。かひふおそく
 かるるうりまし。その性執人の准でく
 を行らぬ山を愛してむごせらる。そらあのかの
 ぶんが今安産のうをくをまう。おまらごらご
 ず。そら紙ぬつて申てくをさうせん。そらあ
 そとたうてが。別をうらんとせよ。らあんでや。
コリヤヤやくいうごらまに

トヤがてそのとぶをくらげけて。のこのごとくおぬひつけて。あこ
かうやくあぶをこりて。医若ハ之ると。ハ安泰のようそびふい
とふふ人ヤうきて。きまの。勤因とて。あて。日ひひごあて。あ
めうまふ。強ひつ。あハ。ま。ト。う。是。を。あて。よ。う。あ。り。け。り。

(Faint mirrored bleed-through text from the reverse side of the page)

木曾 街道 續膝栗毛五編上巻終

